

旅のカレンダー2021

追想のイタリア紀行



徳塔出版

徳塔出版

<http://kanekojun.web.fc2.com/>



2017年 フィレンツェのサンティッシマ・アンヌンツィアータ教会内陣

1月

2月

日 月 火 水 木 金 土

日 月 火 水 木 金 土

1 2

1 2 3 4 5 6

元日

3 4 5 6 7 8 9

7 8 9 10 11 12 13

建国記念の日

10 11 12 13 14 15 16

14 15 16 17 18 19 20

成人の日

17 18 19 20 21 22 23

21 22 23 24 25 26 27

天皇誕生日

24 25 26 27 28 29 30

28

31



2007年 ヴェローナのエルベ広場

2月

3月

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4 5 6

7 8 9 10 11 12 13

建国記念の日

14 15 16 17 18 19 20

21 22 23 24 25 26 27

天皇誕生日

28

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4 5 6

7 8 9 10 11 12 13

14 15 16 17 18 19 20

春分の日

21 22 23 24 25 26 27

28 29 30 31



2014年 聖フランチェスコ聖堂前から見下ろす聖 maria・デリ・アンジェリ聖堂

3月

4月

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4 5 6

7 8 9 10 11 12 13

14 15 16 17 18 19 20

春分の日

21 22 23 24 25 26 27

28 29 30 31

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3

4 5 6 7 8 9 10

11 12 13 14 15 16 17

18 19 20 21 22 23 24

25 26 27 28 29 30

昭和の日



2017年 オルヴィエートのマゴニ通り

4月

5月

日 月 火 水 木 金 土

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3

1

4 5 6 7 8 9 10

2 3 4 5 6 7 8

憲法記念日 みどりの日 こどもの日

11 12 13 14 15 16 17

9 10 11 12 13 14 15

18 19 20 21 22 23 24

16 17 18 19 20 21 22

25 26 27 28 29 30

23 24 25 26 27 28 29

昭和の日

30 31



2017年 オルヴィエートの聖ステファノ・エ・アナ教会

5月

6月

日 月 火 水 木 金 土

日 月 火 水 木 金 土

1

1 2 3 4 5

2 3 4 5 6 7 8

6 7 8 9 10 11 12

憲法記念日 みどりの日 こどもの日

9 10 11 12 13 14 15

13 14 15 16 17 18 19

16 17 18 19 20 21 22

20 21 22 23 24 25 26

23 24 25 26 27 28 29

27 28 29 30

30 31



2007年 チンクエ・テッレのマナローラ

6月

7月

日 月 火 水 木 金 土

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4 5

1 2 3

6 7 8 9 10 11 12

4 5 6 7 8 9 10

13 14 15 16 17 18 19

11 12 13 14 15 16 17

20 21 22 23 24 25 26

18 19 20 21 22 23 24

27 28 29 30

25 26 27 28 29 30 31

海の日 スポーツの日



2010年 セリヌンテのE神殿

7月

8月

日 月 火 水 木 金 土

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3

1 2 3 4 5 6 7

4 5 6 7 8 9 10

8 9 10 11 12 13 14

山の日 振替休日

11 12 13 14 15 16 17

15 16 17 18 19 20 21

18 19 20 21 22 23 24

22 23 24 25 26 27 28

海の日 スポーツの日

25 26 27 28 29 30 31

29 30 31



2005年 メッシーナから海峡を隔てて見るイタリア本土

8月

9月

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4 5 6 7

8 9 10 11 12 13 14

山の日 振替休日

15 16 17 18 19 20 21

22 23 24 25 26 27 28

29 30 31

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4

5 6 7 8 9 10 11

12 13 14 15 16 17 18

19 20 21 22 23 24 25

敬老の日

秋分の日

26 27 28 29 30



2014年 アッシジのサン・ルフィーノ大聖堂界限

9月

10月

日 月 火 水 木 金 土

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4

1 2

5 6 7 8 9 10 11

3 4 5 6 7 8 9

12 13 14 15 16 17 18

10 11 12 13 14 15 16

19 20 21 22 23 24 25

17 18 19 20 21 22 23

敬老の日

秋分の日

26 27 28 29 30

24 25 26 27 28 29 30

31



2017年 オルヴィエートの城壁外周から見下ろす里山風景

10月

11月

日 月 火 水 木 金 土

日 月 火 水 木 金 土

1 2

1 2 3 4 5 6

文化の日

3 4 5 6 7 8 9

7 8 9 10 11 12 13

10 11 12 13 14 15 16

14 15 16 17 18 19 20

17 18 19 20 21 22 23

21 22 23 24 25 26 27

勤労感謝の日

24 25 26 27 28 29 30

28 29 30

31



2014年 サンジミニャーノの街路

11月

12月

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4 5 6

文化の日

7 8 9 10 11 12 13

14 15 16 17 18 19 20

21 22 23 24 25 26 27

勤労感謝の日

28 29 30

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4

5 6 7 8 9 10 11

12 13 14 15 16 17 18

19 20 21 22 23 24 25

26 27 28 29 30 31



2017年 スポレートのジュゼッペ・ガリバルディ通り

12月

1月

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4

5 6 7 8 9 10 11

12 13 14 15 16 17 18

19 20 21 22 23 24 25

26 27 28 29 30 31

日 月 火 水 木 金 土

1

元日

2 3 4 5 6 7 8

9 10 11 12 13 14 15

成人の日

16 17 18 19 20 21 22

23 24 25 26 27 28 29

30 31



カルタジローネを彷徨いマトゥリーチェ通りを西へ向かった。突然視界が開け、シルエットに近くなったサン・ジャコモ・バシリカのキューポラと、刻々と明るさを失ってゆく茜色の残照が目に入った。慌ててカメラを構えて1枚。しかしそこでカメラのメモリーがいっぱいになり予備のメモリーと交換する。次の一枚を撮影できたのは4分後のことであった。



セリヌンテのG神殿南側50メートルほどのところにあるE神殿。やはり破壊されていたが、1950年代に再建された。訪れたこの日は、深く澄んだ青空に恵まれたばかりか、適度に白い雲と風があり、景観にメリハリを付けながら変化してくれた。



フィレンツェのサンティッシマ・アンヌンツィアータ教会は、花の大聖堂から徒歩10分足らずの所にある。しかし大聖堂の内外が観光客の人波で雑踏しているのに対し、ひっそりと清楚な佇まいが好ましく、しばらくの間この静謐さを楽しんだ。



2005年にシチリアを旅し、11番目の訪問地がメッシーナだった。小高い丘に登ると、メッシーナ海峡を隔てて、イタリア本土が指呼の間に見える。直線距離にして10キロほどしかないレッジョディカラブリアとはフェリーや貨物船が頻繁に往来し、ローマからの列車は、乗客を乗せたまま海峡を渡ってくる。



ユネスコ歴史遺産にも登録されているヴェローナは日本人観光客も多い。人気スポットはジュリエットの家やアリーナディヴェローナ(ローマ競技場遺跡)だが、そんなところよりエルベ広場の佇まいが好ましかった。前記二箇所は観光客しかいないが、広場では市民の姿ばかりが目に入る。



アッシジのサン・フランチェスコ聖堂を訪れる観光客や巡礼は年間数百万人にもものぼるといふ。しかしこの聖堂付近を離れば、静寂の保たれた街路は歩いて巡るのが好ましい所だ。サン・ルフィーノ大聖堂から気の向くままに坂道を下って行く。石畳の径は途中で階段やアーチがあり、穏やかな紅葉がしっとりした情感を醸し出



聖フランチェスコ聖堂前から南東を見下ろしていると、霧の中から聖堂が浮かび上がった。急いで望遠系ズームに交換し3枚撮影する。再び霧の中へ姿を隠した聖堂は、その後半時間待っても見ることが叶わなかった。聖マリア・デリ・アンジェリ聖堂で、聖フランチェスコが布教を開始した小さな礼拝堂を保護するための鞘堂だ



オルヴィエート大聖堂を再訪するのに、同じ道筋に行くのも芸がないと、ケーブルカーは止めにして街道筋を辿った。交通量の多い通りで選択を誤ったようだが、イタリアの里山的秋の風景を楽しむことができたとも思う。



オルヴィエートのドウオモ通りから、脇道のマゴニ通りを垣間見る。土産物屋が設えた石壁のディスプレイや、店の看板が洒落た風景となっている。



百塔の街として有名なサン・ジミニャーノだが、撮影した塔の画像に良いものはなかった。塔自体が美しくないし、適当な撮影位置もない。しかし街路は中世からそのままを思わせるような佇まいがそこ此処に見られる。折良く通りかかった通行人を入れて撮影した。



オルヴィエートの街はずれにある聖ステファノ・エ・アナ教会。宿のそばにあったので立ち寄ってみた。特に由緒などなさそうで質素な教会だが、簡素な主祭壇が好ましい。



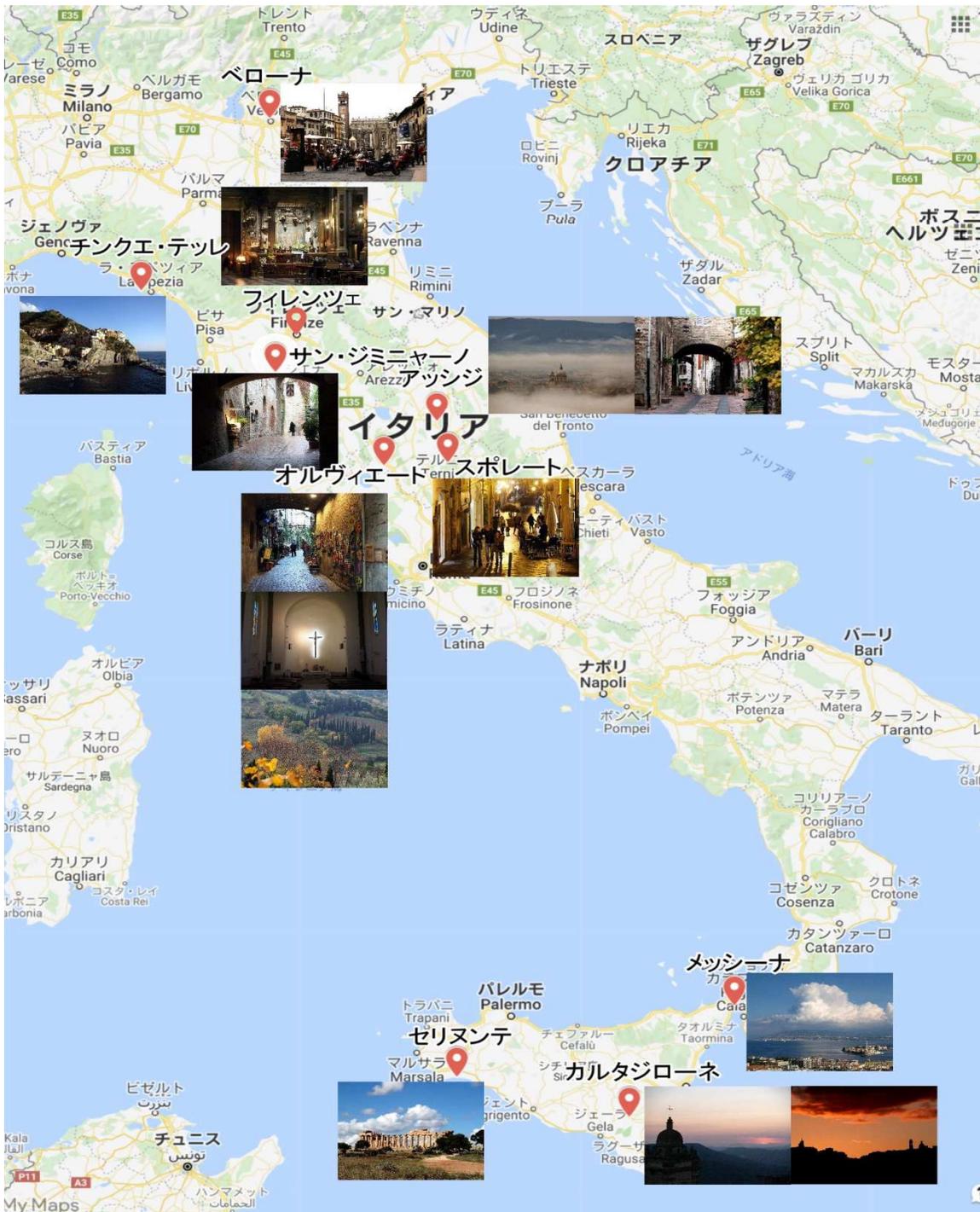
雨上がりのスポレートのジュゼッペ・ガリバルディ通り、黄昏時は、日曜日のせいかのんびり漫ろ歩く人通りが絶えなかった。



2007年に北イタリアを有名観光地を避けるようにして廻った。それでも見るものの多さに圧倒される。旅も終わりに近づくと、その多さに辟易し、逃げ出すような気分でチンクエ・テッレに向かった。しかしここもまた世界遺産、趣は異なるものの、見るべきものの多さにおいて遜色はない。イタリア恐るべし。



丘の上にある街カルタジローネを郊外から狙ってみた。時々刻々次第に赤味を増し紅色に近づき、やがて彩りを失って行くのを約20枚ほど撮影。左側の高台にサン・フランチェスコ・アッリマコラータ教会、右側の高台にサン・ジュリアーノ大聖堂。



旅のカレンダー 2021年 追想のイタリア紀行

2020年12月吉日 発行 非売品

文/写真 金子 純一

発行者 金子 純一

発行所 徳塔出版 <http://kanekojun.fc2web.com/>

〒215-0001神奈川県川崎市麻生区細山4-6-3

Tel.090-5534-2707 (9時～17時)

E-mail:kaneko_j@nifty.com

無断転載・複製を禁じます

旅のカレンダー2021

